

## いたばし魅力ある学校づくりプラン ～前期計画第3期対象校対応方針～

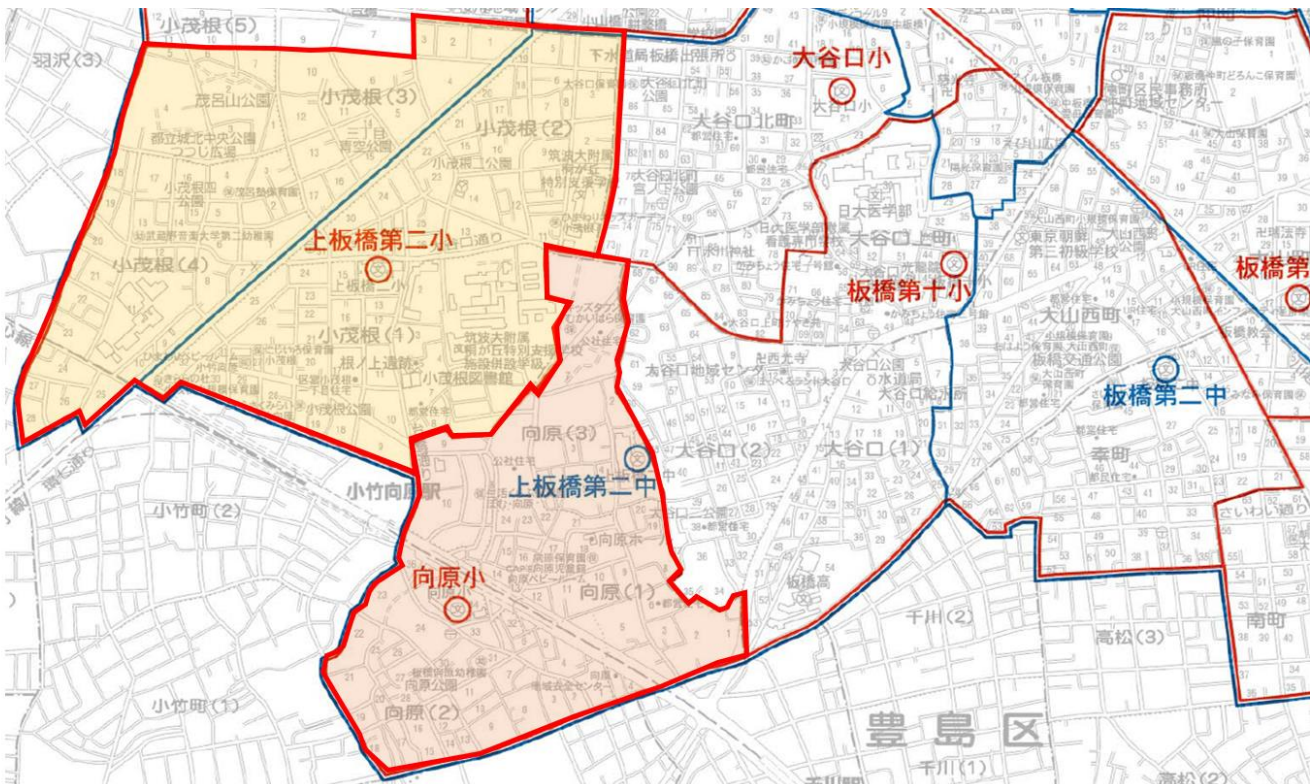
「いたばし魅力ある学校づくりプラン」前期計画第3期対象校については、エリア内の大規模集合住宅建設の最新情報などを考慮しながら、下記のグループ編成検討結果に基づき、関係する学校・CS委員会・地域へ説明・意見交換・協議を行い、合意形成を図っていく。

### 1 前期計画第3期対象校・学校グループ

期	学校名	グループ
第3期	向原小学校 上板橋第二小学校	Fグループ
第3期	板橋第一中学校 板橋第五中学校	Gグループ

### 2 Fグループ編成

#### (1) 向原小学校・上板橋第二小学校 区域図

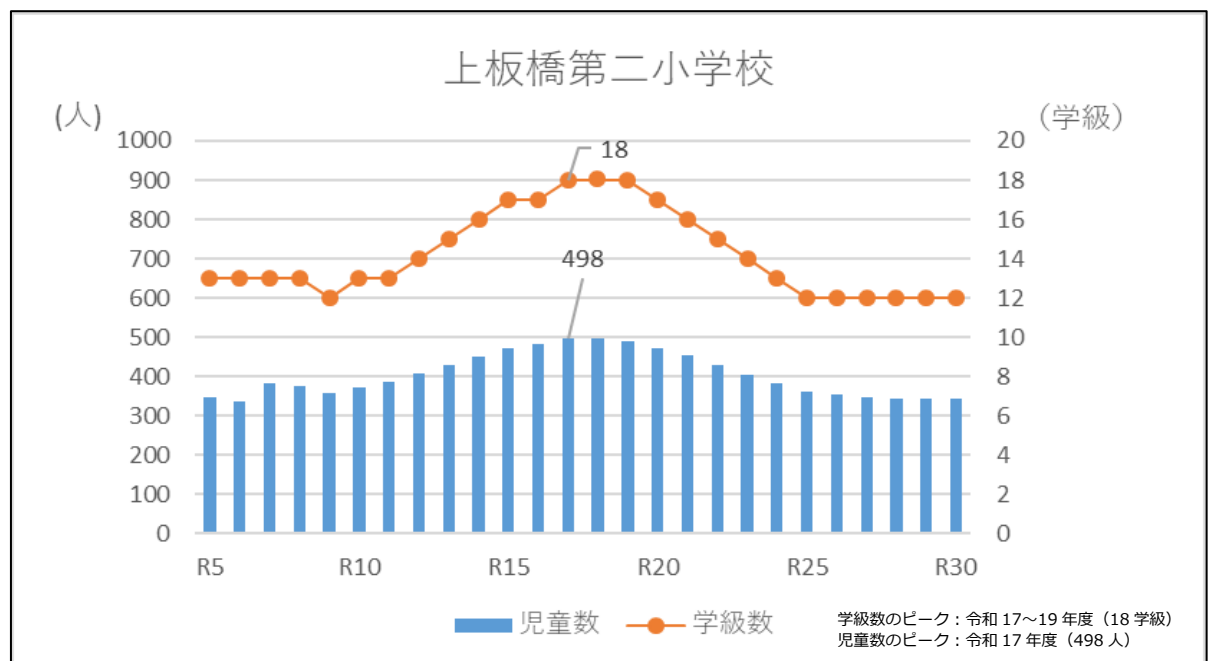
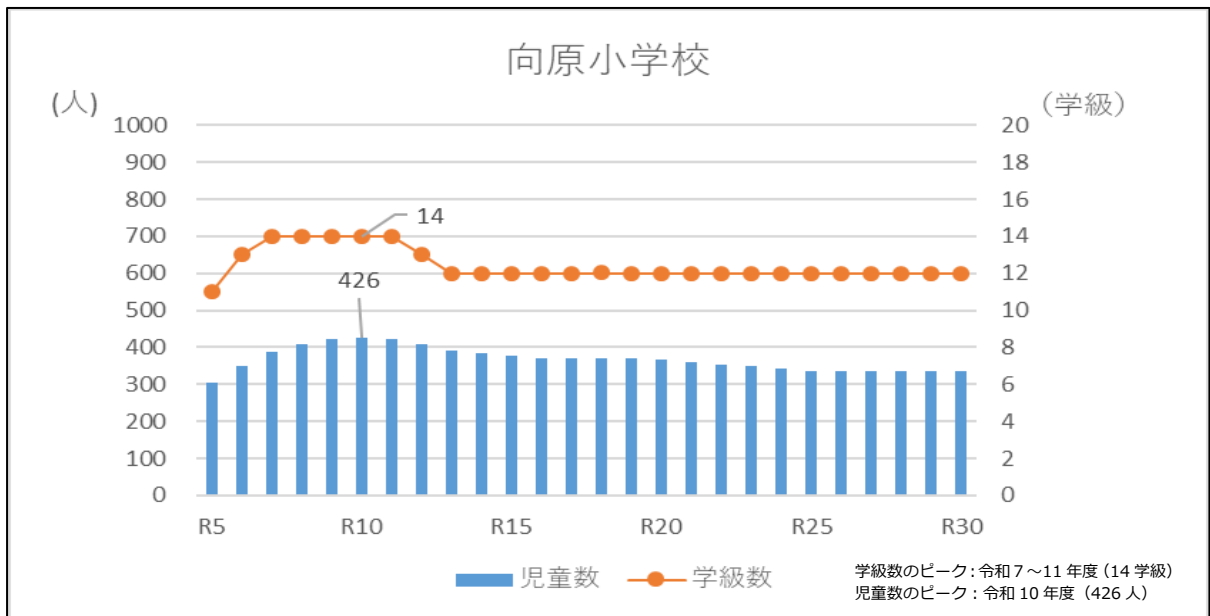


(2) 各校の状況

学校名	学校間距離(km)	R5 児童数(学級数)	建築年	校地面積(m <sup>2</sup> )
向原小	0.7	304(11)	S36	12,145
上板橋第二小		348(13)	S42	7,727

(3) 児童数・学級数推移及び将来予測

学校名		R5	R10	R15	R20	R25	R30
向原小	児童数	304	426	378	366	336	336
	学級数	11	14	12	12	12	12
上板橋第二小	児童数	348	373	472	473	362	342
	学級数	13	13	17	17	12	12



※将来予測の数値は、令和5年5月1日現在の住登数・児童在籍数に基づく

(4) グループ編成検討結果

向原小学校は、昭和 36 年に建設され、施設の老朽化が進んでいる。

上板橋第二小学校は、昭和 42 年に建設され、近い将来、施設面での対応が必要になってくる。

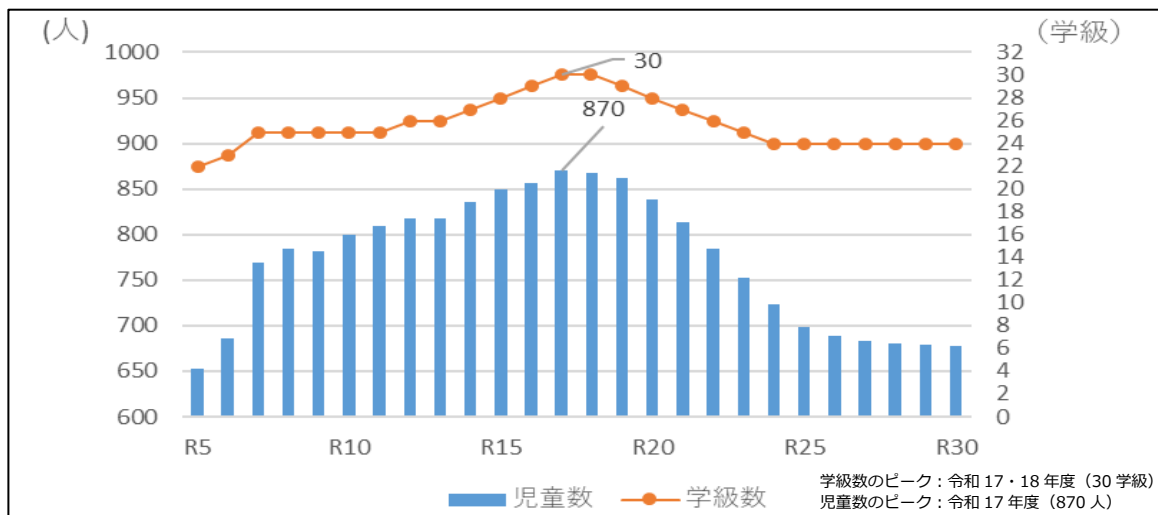
児童数の将来推計では、大規模集合住宅が建設されている地域もあり、当面の間、両校とも適正規模を維持していく見込みである。そのため、仮に両校を統合した場合は、学校規模が過大になってしまう予測である。

以上の点などを考慮し、向原小学校は現地改築の方向で検討していく。上板橋第二小学校は昭和 40 年代の建築のため、別途施設改修を検討していく。

なお、向原小学校の改築のタイミング等に合わせて、周辺校も含めた通学区域の検討を行っていく。

※向原小学校と上板橋第二小学校を統合した場合の児童・学級数推移予測

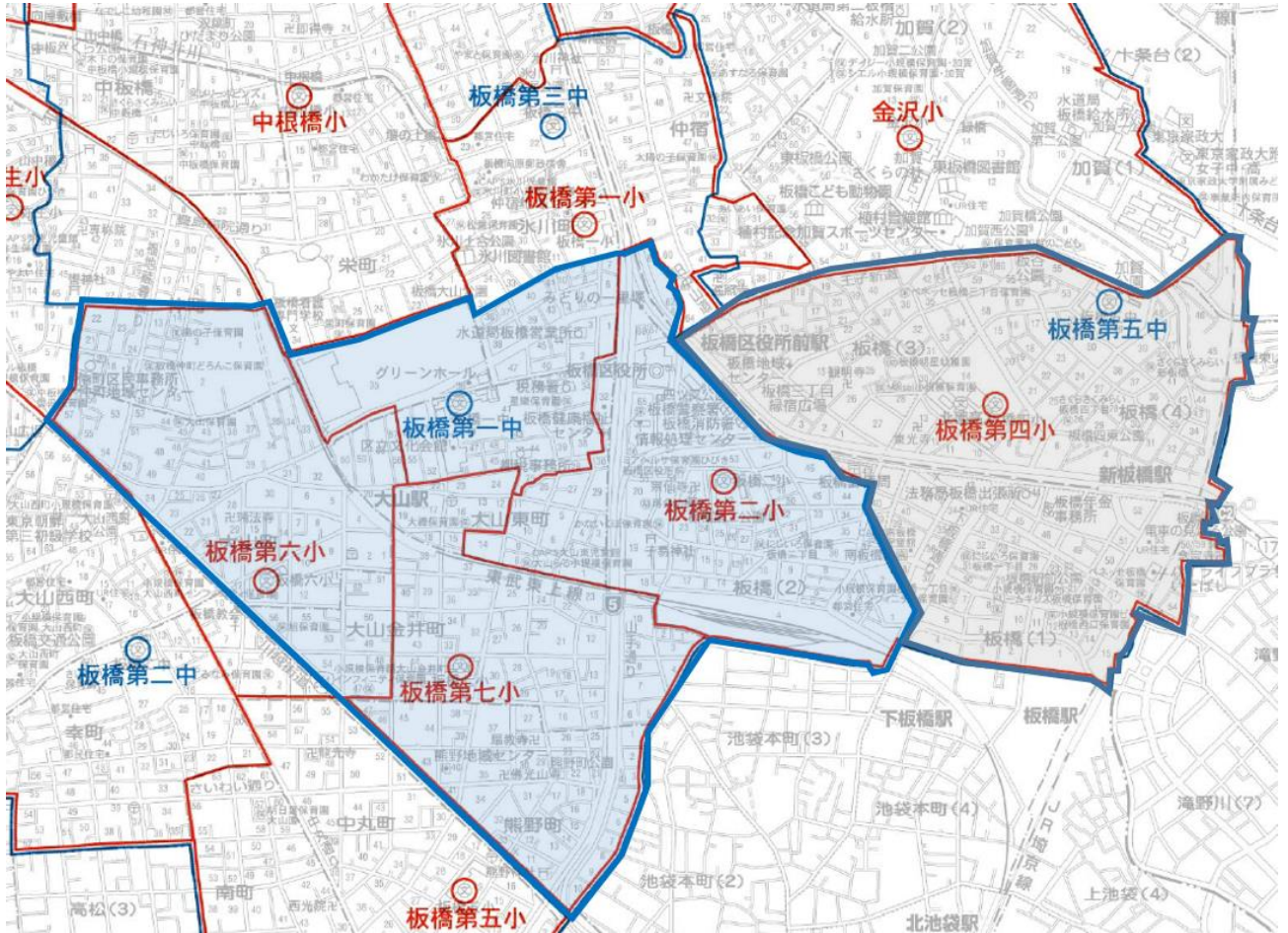
	R5	R10	R15	R20	R25	R30
児童数	652	799	850	839	698	678
学級数	22	25	28	28	24	24





### 3 Gグループ編成

#### (1) 板橋第一中学校・板橋第五中学校 区域図

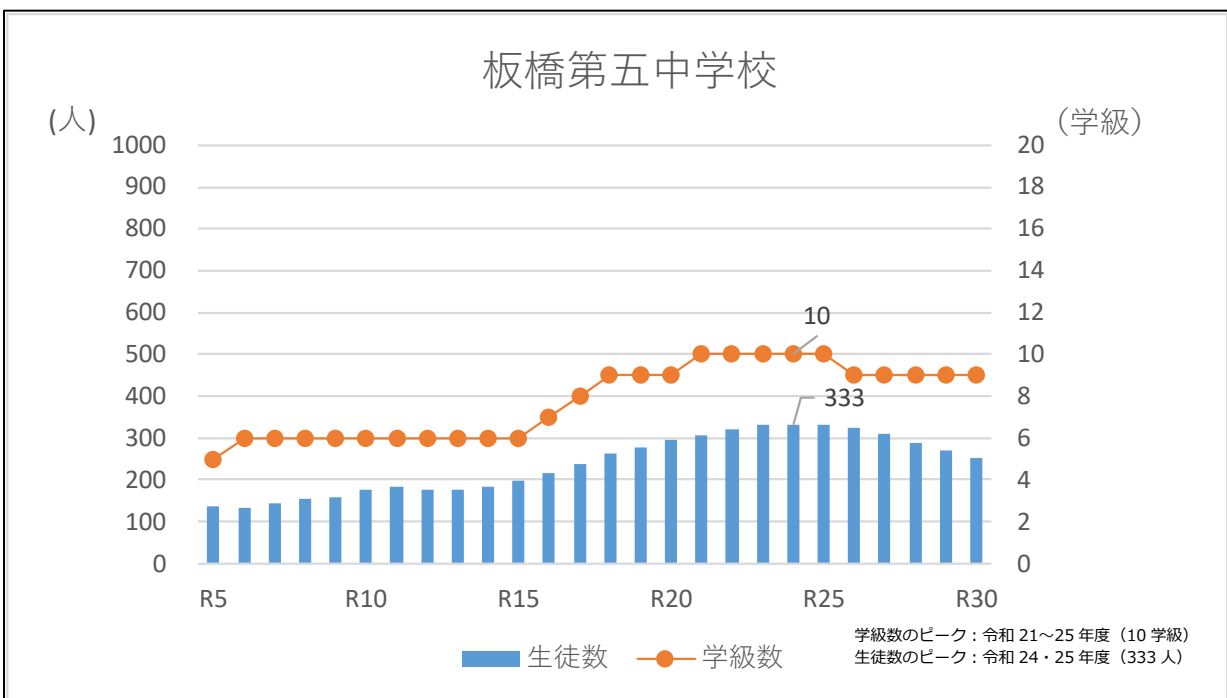
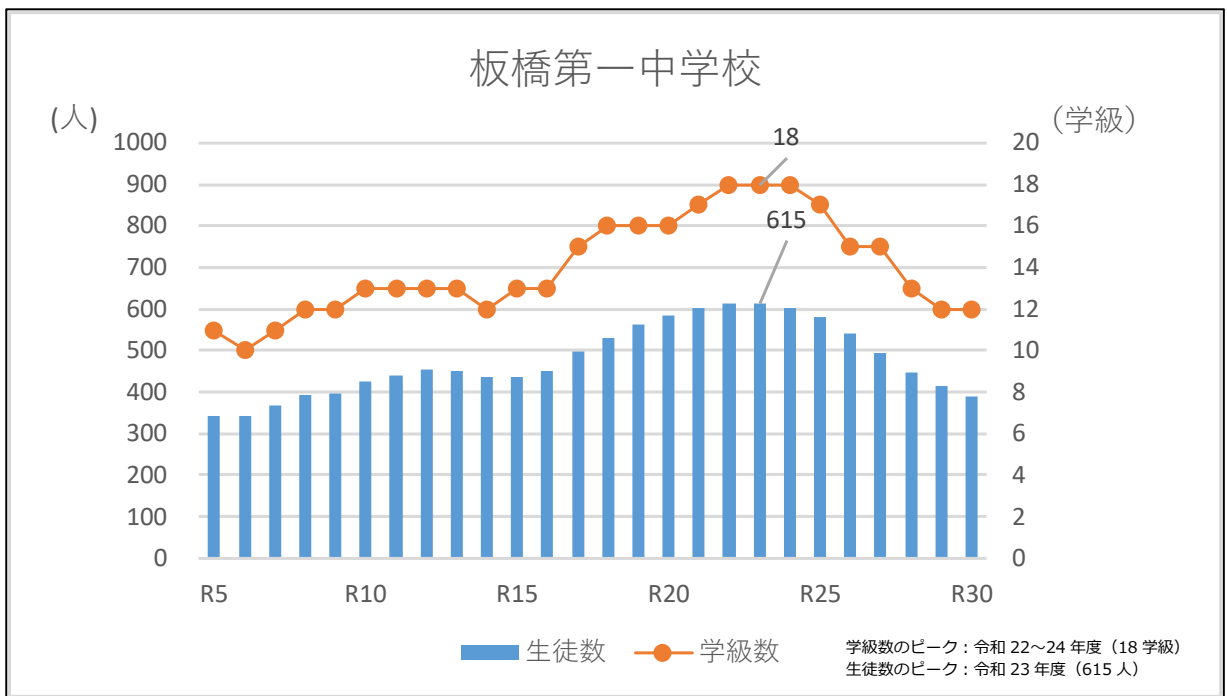


#### (2) 各校の状況

学校名	学校間距離(km)	R5 生徒数(学級数)	建築年	校地面積(m <sup>2</sup> )
板橋第一中	1.4	341(11)	S36	11,363
板橋第五中		138(5)	S37	11,529

#### (3) 生徒数・学級数推移及び将来予測

学校名		R5	R10	R15	R20	R25	R30
板橋第一中	生徒数	341	427	438	585	582	388
	学級数	11	13	13	16	17	12
板橋第五中	生徒数	138	177	198	294	333	252
	学級数	5	6	6	9	10	9



※将来予測の数値は、令和5年5月1日現在の住登数・生徒在籍数に基づく

(4) グループ編成検討結果

両校の通学区域内では、板橋駅西口周辺地区のまちづくり、大山駅周辺地区のまちづくり等に伴う大規模集合住宅の建設が集中しており、当面の間、生徒数は増加する見込みである。そのため、仮に両校を統合した場合は、学校規模が過大になってしまう予測である。

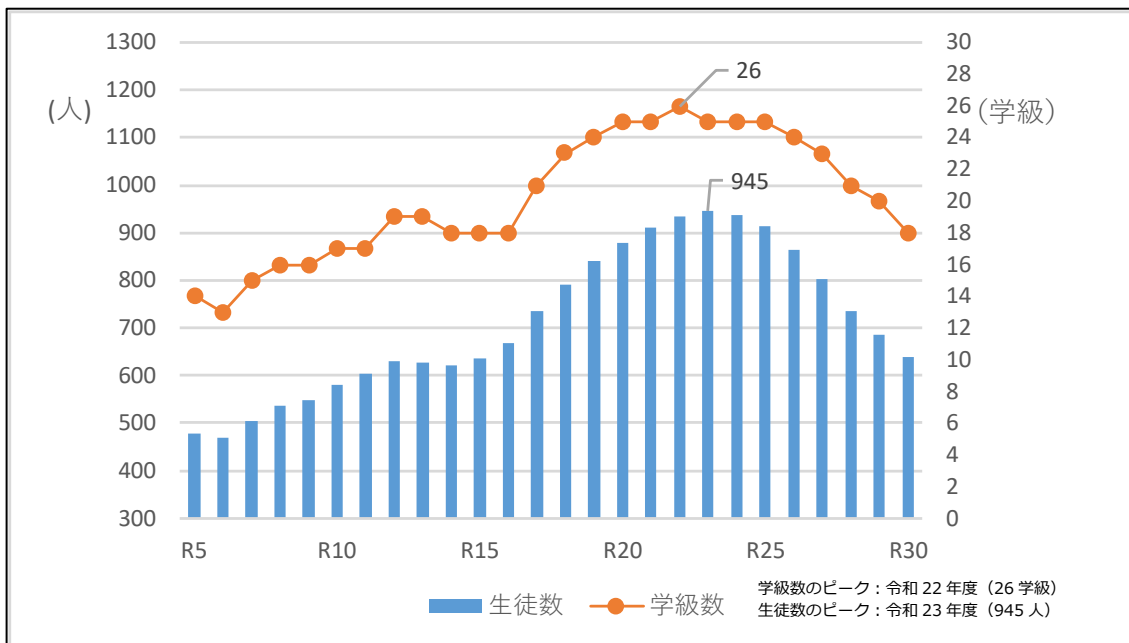
また、板橋第一中学校は昭和 36 年、板橋第五中学校は昭和 37 年に建設され、両校ともに施設の老朽化が進んでいる。

以上の点などを考慮し、板橋第一中学校と板橋第五中学校は、それぞれ現地改築の方向で検討していく。

さらに、学校施設整備のタイミング等に合わせて、周辺校も含めた通学区域の検討を行っていく。

※板橋第一中学校と板橋第五中学校を統合した場合の生徒・学級数推移予測

	R5	R10	R15	R20	R25	R30
生徒数	479	581	636	879	915	640
学級数	14	17	18	25	25	18

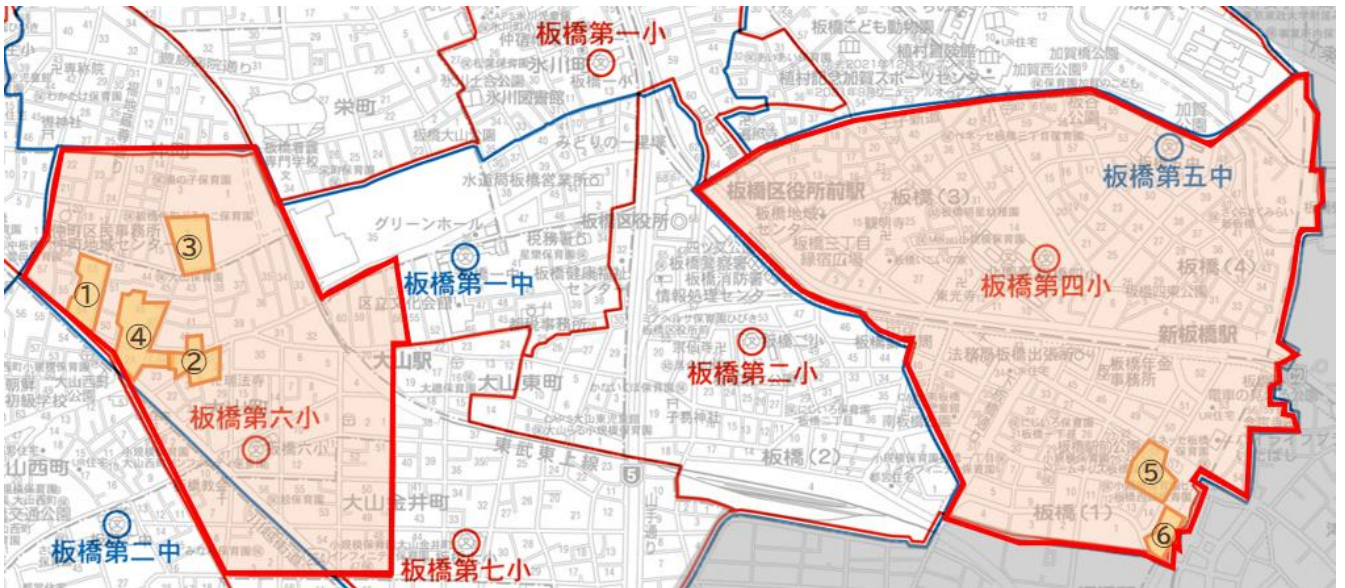


#### 4 大規模集合住宅建設集中に伴う区域内小学校の教室不足対応 (板橋第四小学校・板橋第六小学校)

まちづくり等に伴う大規模集合住宅建設集中による影響は、中学校より先に小学校に現れる。

「いたばし魅力ある学校づくりプラン」前期計画の対象校ではないが、通学区域内に大規模集合住宅の建設が集中的に予定されている板橋第四小学校と板橋第六小学校については、大規模集合住宅建設の最新情報などを考慮しながら、下記の検討結果に基づき、将来の教室不足対応を行っていく。

##### (1) 板橋第四小学校・板橋第六小学校 区域図



※上記区域図の①～⑥は、再開発事業における大規模マンションの計画地

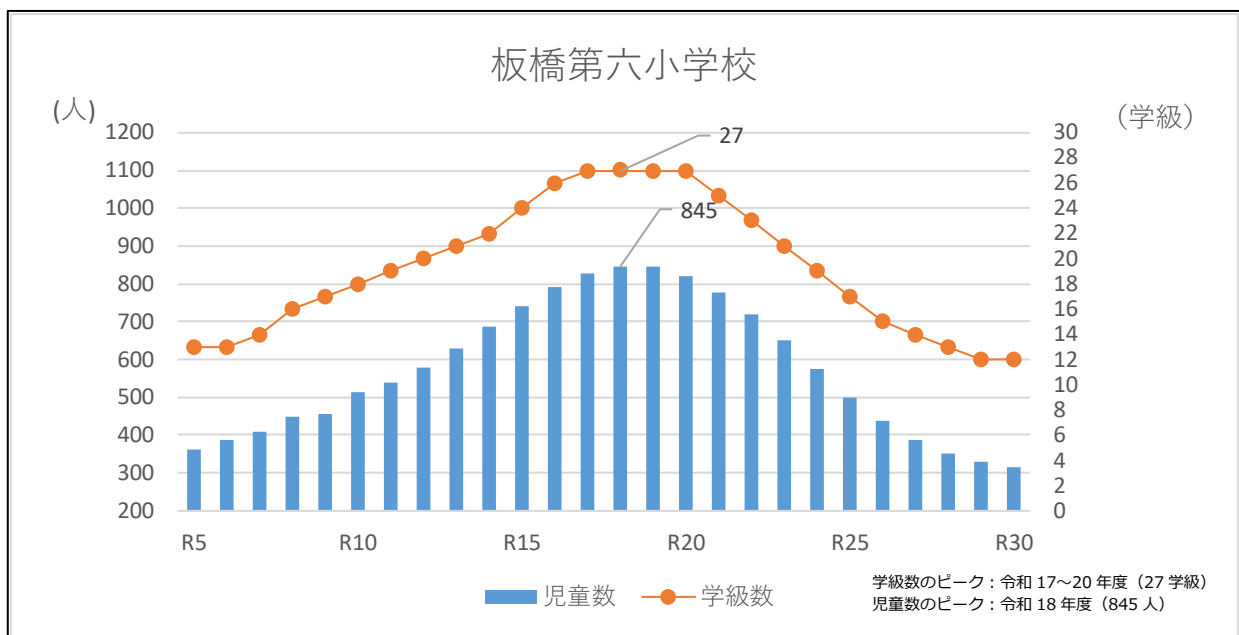
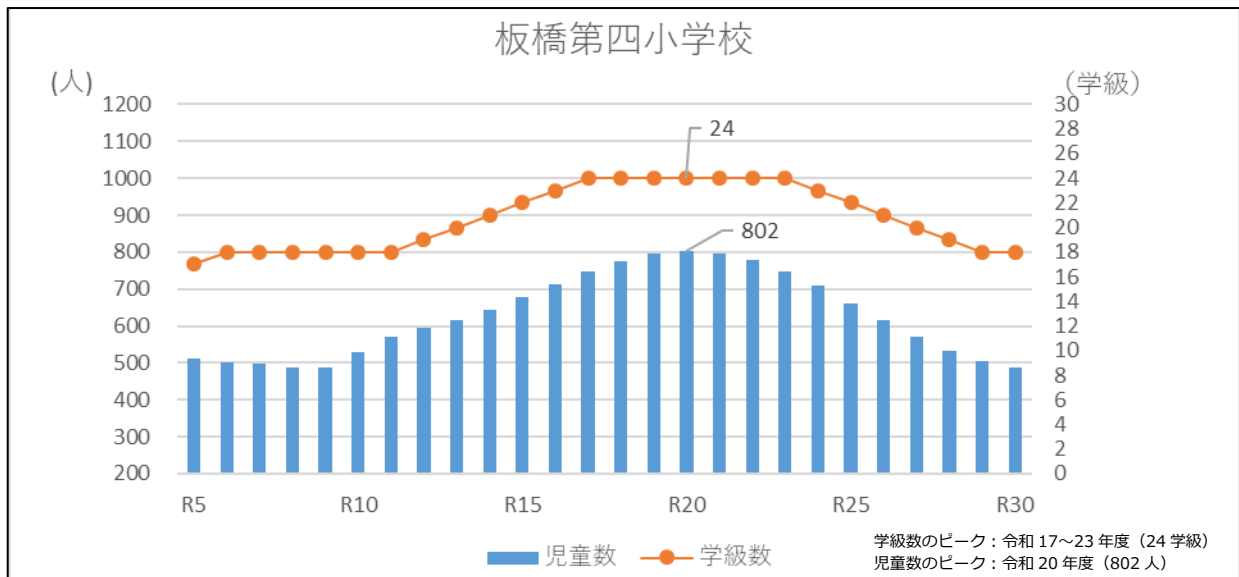
##### (2) 各校の状況

学校名	R5 児童数(学級数)	建築年	校地面積(m <sup>2</sup> )
板橋第四小	510(17)	S38 (H23年大規模改修済み)	7,095
板橋第六小	363(13)	S40	6,135

##### (3) 児童数・学級数推移及び将来予測

学校名		R5	R10	R15	R20	R25	R30
板橋第四小	児童数	510	528	678	802	661	486
	学級数	17	18	22	24	22	18
板橋第六小	児童数	363	515	742	821	500	314
	学級数	13	18	24	27	17	12





※将来予測の数値は、令和5年5月1日現在の住登数・児童在籍数に基づく

#### (4) 教室不足対応検討結果

板橋第四小学校は、昭和 38 年建設であるが、平成 23 年に大規模改修工事を実施しており、次期施設更新時期は令和 30 年頃となる見込みである。

板橋第六小学校は、昭和 40 年に建設され、近い将来、施設面での対応が必要になってくる。

児童数の将来推計では、通学区域内の大規模集合住宅建設の集中に伴い、児童数の増加が見込まれており、令和10年度前後に両校ともに現校舎内の最大教室可能数を超える予測がある。

以上の点や施設更新時期などを考慮し、板橋第四小学校は増築、板橋第六小学校は現地改築の方向で、両校の教室不足対応を検討していく。

なお、改築のタイミング等に合わせて、周辺校も含めた通学区域の検討を行っていく。